

人と自然が輝く水源の郷



最高の笑顔で目指そうキラキラ 道志小学校運動会

- 9月定例会 (29年度一般会計決算の認定、請願、他) P 2
- 議案等の質疑 (高校生の通学支援実証運行は、他) P 2～3
- 一般質問 (3人が問う) P 6～9
- あの一般質問は・今 (これからの公共交通について) P12
- 紹介 (出羽 公昭) / がんばる人紹介 (天野 直樹) P13～14

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

9月 定例会

平成29年度決算認定審議と 平成30年度補正予算審議等

9月定例会は9月11日から21日まで開催され、報告（1件）、補正予算（6件）、平成29年度決算認定（8件）、請願（2件）、教育委員会委員任命の同意（1件）等を審議可決しました。また、一般質問は3人の議員が一問一答方式にて村政の考えを問いました。

おもな審議事項

- 報告 1件 平成29年度道志村健全化判断比率及び資金不足比率の報告を受けました。
- 補正予算 6件 平成30年度道志村一般会計（第2回）、その他5会計（第1回）につき審議。
- 決算認定 8件 平成29年度一般会計、7件の特別会計の認定につき審議。
- 請願 2件 ・教職員定数改善、少人数学級推進、義務教育国庫負担制度の拡充を図る。
・山梨県各機関における非行行政書士行為排除の徹底を求める。
- 同意 1件 道志村教育委員会委員の任命

7月18日 平成30年度第3回臨時会の開催

おもな審議事項

- 土地の取得について（月夜野、野原トンネル残土処理場予定地買収）
- 一般会計補正予算（第1回）

QA 議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



Q 高校生の通学支援実証運行事業は

- 運行业者と現在の利用状況は？

A 8月27日より村内の一般社団法人DCBにて帰路のみ運行開始。

	対象者	利用者	出発時間
都留方面	22名	9名	19時40分
富士吉田方面（2便）	19名	13名	17時30分と19時30分

Q 役場新庁舎の整備検討状況は

●役場庁舎整備検討委員会の立ち上げは？

A ・現在副村長を委員長とし、庁内検討委員会を設置して検討する中で他の自治体視察も実施しています。
 ・役場庁舎の整備は村のイメージに直結するものであり、村民との検討会を行い、より良い方向を出していきます。

Q 各道路の通行止め降雨基準の設定は

●基準の引き上げは可能か？

A 現在全方向が降雨量 130mm で通行止めですが、下記改良（おもに法面）工事後は設定基準を変更する事が可能となります。

山中湖方面	道志側 3か所	山中湖側 数か所
都留方面	道志側 なし	都留側 数か所
月夜野方面	野原～月夜野間のトンネル完成後は設定変更可能だが、さらに計測を充実する為、観測計器の追加設置を行いたい。	

Q 神地農村公園をヘリポートに活用することは

●村内における第2ヘリポートとしての条件は？

A 当初ヘリポートとして事業計画し用途変更した経過が有り、補助金返還の問題が発生する為に別途、農村公園を造る必要が発生します。しかし村としては必要不可欠の為、他の候補地も含め第2ヘリポートを造る方向で検討していきます。

Q 介護認定審査の期間短縮は図れないか

●第1次（役場住民健康課）審査の期間短縮は？

A 住民健康課（地域包括支援センター）の第1次審査がスムーズに行くよう人員も整え、利用者と主治医の意見聴取期間を早める事により、現在第1次（村）、第2次（広域）を併せ約60日を要している審査期間の短縮を図ります。また、第2次介護認定審査会の回数を多くする事で期間短縮を図っています。

万円など 総額 27.4 億円

特別会計（7会計の合計） 8億 1,282万円

平成29年度 一般会計の決算

- 歳入（はいつてくるおかね） …… 20億 4,988万円
- 歳出（どうつかわれたか） …… 19億 2,511万円
- 歳入歳出差引（のこったおかね） 1億 2,477万円

繰越事業に充当するお金 479万円

純繰越金（30年度の事業で使うお金） 1億 1,998万円

（単位：千円以下切捨て）

平成29年度 特別会計の決算

（単位：千円以下切捨て）

会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額
国民健康保険	3億 2,097万円	3億 147万円
国民健康保険診療所	1億 1,187万円	1億 1,187万円
簡易水道事業	6,707万円	6,687万円
介護保険	2億 479万円	1億 9,220万円
介護サービス事業	71万円	71万円
浄化槽事業	9,414万円	9,404万円
後期高齢者医療	4,565万円	4,565万円
合 計	8億 4,520万円	8億 1,281万円

中山間地域所得 向上支援事業費 1億2,223

【一般会計 19億 2,511 万円・

【一般会計の目的別歳出】

● 議会費

29年度 3,978万円
28年度 4,115万円

● 総務費

29年度 3億3,394万円
28年度 3億6,296万円

● 民生費

29年度 2億3,056万円
28年度 2億7,122万円

● 衛生費

29年度 1億 663万円
28年度 1億 481万円

● 農林水産業・商工費

29年度 3億3,700万円
28年度 1億8,740万円

● 土木費

29年度 1億6,900万円
28年度 1億5,835万円

● 消防費

29年度 1億 52万円
28年度 1億1,490万円

● 教育費

29年度 1億9,080万円
28年度 6億3,782万円

★ 28年度は小学校建設費含む

● 災害復旧費

29年度 0円
28年度 0円

★ 災害事業 0 件の為

● 公債費（借金の支払い）

29年度 3億2,574万円
28年度 2億8,381万円

● 諸支出金

29年度 9,114万円
28年度 1億6,124万円

監査結果 実質公債費比率は7.1%となっており、早期健全化基準の25%を大きく下回っていることから、健全な運営と認める。ただし、前年度から0.9ポイント上昇し、上昇傾向であるため財政状況に十分留意し、財政的な推移を見守る必要がある。

9月定例会一般質問一覧

■ 佐藤 進 議員

1. 村のオリンピック対応策は
2. 小中学校の連携事業は

■ 山口 博康 議員

1. 野原～月夜野間トンネルの進捗は
2. オリンピックの村としての対応は
3. 近年の異常気象に対する村の対策は

■ 出羽 和平 議員

1. 高校生の通学支援事業の進捗は
2. オリンピックの今後の取り組みは

一般質問
村政を問う
ここが聞きたい

3人の議員が質問

- ・ 本文掲載は要旨のみです。
- ・ 再質問は議事録で閲覧できます。
- ・ 議事録は議会ホームページで11月中旬ごろ閲覧できます。

議会を傍聴しませんか

- ・ 次回定例会は12月に開催します。
- ・ 傍聴の定員
本会議10人（席の都合上）
- ・ 9月定例会の傍聴実績
本会議4人
- ・ 問い合わせ 議会事務局

☎ 0554-52-2112

※一般質問の形態・方法が変わりました。平成28年9月定例会から一問一答方式を試行的に実施しています。



佐藤進 議員

Q 村のオリンピック対応策は A 10月以降県との連携を進める

佐藤

自転車ロードレースコースが正式決定された。

組織委員会や山梨県と行うこと、村独自で行うことがあると思うが、村としてはどのような対応を考えているのか。

村長

本村を通過するコースが正式発表され、県の合同説明会や、東京都庁において4都県関係機関合同打ち合わせが初めて開催され、ふるさと振興課にて参加しています。

その中で、10月以降に詳細が提示されることなどが伝えられています。また、県との連携については、知事を訪問し、景観整備も含めた国道周辺の整備を要望しており、県において観客の安全

確保やコース周辺の景観保全を目的に国道整備を実施することが発表されています。

村では、機運醸成事業として、横断幕や懸垂幕を設置し、今後、パネルを設置する予定となっているほか、サイクルサポーターステーションの募集を開始し機運醸成に努めていきます。



国道413号沿いに設置された横断幕

Q 小中学校の連携事業で7月18日に「やまゆりセンター」で小中連携教育についての説明会があり、

昨年度は、小中連携について先生方から、児童・生徒や教職員同士の距離も近くなるというように感じると聞いた。

今年度も小中学校の連携事業を行うとの説明だったが、どの様に関わり、協力していくのか。

A 特色ある教育環境

の良さを生かした、小中連携教育の推進

教育長

道志村教育大綱の基本方針の中で、「小中連携教育の推進」があげられています。

学習指導要領が目指す



小中学校校舎

「生きる力」の育成に向けて、道志村の特色ある教育環境のよさ等を生かした、小中連携教育の推進に向けて、教育委員会としても、小中学校と関わり協力していきたいと考えています。

また、これまでの連携事業を検証するとともに、小中学校の意見や要望に伝えられるよう、連携に関わる予算面での配慮や環境の整備等、教育委員会として小中学校との協力体制づくりに努めてまいります。

Q 野原～月夜野間トンネルの進捗状況は A 着工に向け大きく前進



山口博康 議員

山口

7月の臨時議会で残土処理場買収費の予算が可決されたがその後の地権者との交渉における進捗状況は。

産業振興課長

道志バイパストンネル工事につきましては残土



野原～月夜野間トンネル工事予定地

処理場の買収予算を7月の臨時議会において予算措置させていただき、現在は地権者と個別に交渉させてもらっております。ほとんどの所有者から口頭で了解を得ており、一部の地権者とはすでに売買契約を交わしております。

相続等の手続きが必要

な土地もあり、それらについては司法書士に委託し手続きを進めております。県が進めております交渉も、ほとんどの地権者から同意を得ることが出来ました。

Q 自転車ロードレー

スに対して村としての対応、また県との取組み及び村民の協力体制の対応策は。

A 横断幕等を設置し
機運醸成に努める

村長

村としては横断幕や懸垂幕を村内3ヶ所に設置しました。

今後2ヶ所へパネルを設置するほか、サイクルサポートステーションを募集します。

県に対しては、国道の危険個所の解消、景観整備予算を要望し、後日国道整備方針が発表されました。

ボランティアの規模、要件及び公共施設の提供は本年10月に組織委員会から示される予定です。

Q 8月23日の本村

における総雨量は520mmに達し、国道・県道は全て通行止めとなり陸の孤島化した。近年の異常気象は今後も続くものと考えるが、村民の安心・安全のための村の対策は。

A 県へ治山事業、

国道改良等を要望
していく

村長

村としては、毎年砂防堰堤や治山事業を県に要望しています。

平成31年度からは新たな農村地域減災防災事業を計画しています。

また、現在計画中の二つのトンネル化事業は防災減災面からも必要と考えています。



出羽和平 議員

Q 高校生の通学支援事業の進捗等は A ニーズに合った運行計画で実施

出羽

高校生の通学において、帰りの時間が一定せず各家庭の負担が大きくなっています。子育て世代の負担軽減のため、都留方面、吉田方面から帰りの車両を出して高校生の迎えを行う「通学支援実証運行事業」の進捗と運行業務委託先は。

ふるさと振興課長

コミュニティバスの運行を目的に村内で設立された一般社団法人DCBに委託し事業を開始しました。

Q 現時点で問題、課題はあるか。

A インターネット上のスケジュール管理サービスで対応

ふるさと振興課長

生徒のスケジュール管理や台風時の通行止めの対応など、課題がありましたが、インターネット上のスケジュール管理サービスの活用で解消しています。

Q 事業継続の判断基準は。

A 実証運行の結果により今後協議する

ふるさと振興課長

今年度運行における申請者数や利用率等を考慮し、来年度高校生となる生徒や保護者の意見を踏まえ、事業継続に向けて協議していきます。

Q 東京オリンピック自転車ロードレースのコース決定で、今後の取り組みは。

A 国道周辺の間伐や危険ヶ所の整備に取り組み

村長

国道周辺の間伐や、ビューポイントを選定し、整備に取り組み、選手や観客の皆様豊かな自然を楽しんでいただきたいと考えています。

Q ボランティアの人数や仕事の内容、募集方法は。

A 組織委員会の詳細発表後対応する

ふるさと振興課長

本年10月以降に組織委員会より指示が得ま

すので、募集方法は、住民を対象に自治会長等の協力をいただきながら募集したいと考えています。

Q オリンピックを一度性のものにしないうために何か考えはあるか。

A サイクリストの聖地を目指す

ふるさと振興課長

サイクルサポートステーションの設置や関係機関との連携を図りながらサイクリストの聖地となるように取り組んでいきます。



● 町村議会広報委員行政視察

平成 30 年 8 月 29 ～ 30 日

平成 29 年度議会広報全国コンクールで最優秀賞（1 位）埼玉県寄居町議会と、同コンクール優良賞（7 位）に輝いた群馬県玉村町議会の広報視察研修に参加しました。両町の議会広報誌から学ぶ点は多く、共通していることは、親しまれる紙面や、議会への提言として町民の声を積極的に掲載するなど町民が登場する紙面づくりをしていることでした。

今回の研修で学んだことを今後の議会だよりの編集に活かしていきたいと思えます。



● 建設厚生常任委員会

平成 30 年 8 月 29 日

8 月 29 日建設厚生委員会を開催しました。内容は、現在進められている建設中の工事、及び今後の計画等についての進捗状況の把握と、砂防工事の現場視察です。野原～月夜野間トンネルの進捗状況は、着工間近との確認をしました。その他国道の要望箇所は、工事費や土地交渉の調整で、少し時間がかかるとの事でした。



現場視察は、神地の平久住沢とムジナ沢の堰堤工事を視察しました。どちらも数億円近くの工事費です。ムジナ沢は堰堤の長さが約 100 m ある大きな工事ですので、下流の地域は安全が保たれます。

● 山梨県東部広域連合議会報告

平成 30 年 8 月 30 日

山梨県東部広域連合が運営していた養護老人ホーム大鶴楽生園の処理が平成 30 年 8 月 30 日終了し、広域連合として今後果たしていく業務の検討を開始しています。

検討課題

- 1) 都留市消防本部（道志村含む）大月市消防本部（小菅、丹波山村含む）上野原市消防本部でそれぞれ運営されている消防救急業務の統合について、住民サービスの向上、人員配置の効率化、消防体制の基盤の強化の面から検討しています。
- 2) 介護保険の認定審査における第 2 次判定の期間の短縮を図っています。そのために審査会の回数を増やし件数の増加に対応しています。

その他、現在都留市立病院では平成 31 年 2 月以降の出産予定の利用者を対象に産科診療を開始しており、平成 31 年 2 月以降は産科医師 3 名体制で診療される旨が報告されました。

議会活動報告

● 全国森林環境税創設促進議員連盟第25回定期総会

平成30年7月19～20日

森林は、地球温暖化の防止や国土の保全、水資源の涵養、土砂災害防止、生物多様性保全、自然環境の保持など、国民生活と切り離すごとのできない貴重な財産です。しかし現在山林は荒廃し、自然災害等の脅威に対して、国民の生命・財産が危険にさらされるといった事態も生じています。川上の山村と川下の都市は、今こそ手を携えて、この緑豊かな美しい国土と山村を守り、国民一人ひとりが安心して暮らせる資源循環型社会を実現し、自律的で持続的な社会を創生していかなければなりません。「全国森林環境税創設促進議員連盟」は、森林が果たす公益的機能とその重要性を広く国民に訴えとともに、森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の実施のため、平成31年通常国会において関連法令の確実な成立に向けた運動を展開することを宣言しました。



定期総会のようす

● 町村議会広報研修会

平成30年7月31日



山梨県自治会館にて

山梨県自治会館において、山梨県町村議会広報功労者表彰があり、編集委員として5年以上在職し、功労顕著なる者9名が表彰されました。グラフィックデザイナーの長岡光弘さんによる『読まれる議会広報紙の編集と表現ポイント』と題した、住民に分かりやすく情報発信するための編集方法、紙面づくりの講演があり、今後分かりやすく住民に読んでもらい、身近に感じてもらえる「議会だより」に取り組んでいく為の良い参考になりました。

● 総務文教常任委員会

平成30年8月21日

昨年行った、小中学校の先生方へのアンケート（小中一体校舎で送る学校生活の問題について）の結果を基に小中学校一体型校舎及び教育施設の有効活用、体育館、プール、グラウンド、その他教育に関わる施設の連携がとれているかなどを協議しています。主な協議内容は以下のとおりです。

- ①プールの維持・管理について
- ②学校施設の小学校・中学校での共同利用について
- ③校舎から体育館への雨天時の移動方法
- ④グラウンドの水はけについて
- ⑤国道から学校までの道路整備に付随した児童生徒の安全確保について
- ⑥現校舎において、シックハウス、電磁波による人体への影響はあるか

以上の問題について、総務文教委員会としての政策意志を示すことにより、充実した教育環境実現の為、提言を行う予定です。

あの一般質問は今…

平成26年6月定例会

質問

これからの公共交通
についての考えは

答弁

地域にとって必要となる公共
交通のあり方を明確にし、路
線バス及びコミュニティバス
が一体的かつ効率的に機能す
る交通ネットワークの形成が
必要と考えています。

平成27年12月定例会

質問

婚活イベント、今後
の開催予定は

答弁

結婚支援事業は、本村の人口
増加対策の最重要課題です。
今後も村が一体となって継続
していく事が重要と考えてい
ます。

その結果今は



結婚相談員を中心に、年1回～2回婚活イベントを行っている。(平成26年から8回実施)
平成30年度は11月10日実施予定。



村民アンケートを踏まえ、実施に向け、高校生の迎えを行っている。

議会の考え

人口減少対策の観点からも平成31年以降も継続するよう要望していく。

課題は多いと考えるが、最終的には住民個人の足になれるよう要望していく。

紹介

しょうかい

道志村ボランティア連絡協議会

会長 出羽 公昭



支援の輪の広がりに期待 自分のできることで村に恩返し

私がボランティアに関わるようになったのは平成17年に結成された「道志あすなる会」との出会いからです。

あすなる会では、①診療所送迎、②ふれあいサロンの運営協力、③配食サービスなどを行ってきました。

また、年一度の研修を実施し、山梨学院大学に行き、丸山先生を囲みボ

ランティアについて話を聞いたり、また昭和町や早川町での町長やボランティアの代表との意見交換会などを行いました。

色々な仲間と出会い、たくさんの方と触れ合う中で、皆さんの「ありがとう」を頂き今日を迎えています。

「道志あすなる会」は平成29年3月に発展的

解散を迎えましたが、その中の多くのメンバーが現在も社会福祉協議会のボランティアとして登録を行い活動しています。

平成29年度にボランティア体制整備を行う中で、平成30年4月に「道志村ボランティア連絡協議会」が発足し会長を仰せつかりました。

多くの皆様方のご理

解とご協力を頂き支援の輪が広がることを期待し、今後も自分のでき

ることで道志村に恩返しができると思っています。



ふれあいサロン（やまゆりセンター）にて

がんばる人紹介

道志村に赴任しての思い



道志駐在所
巡査部長 **天野 直樹**

私が道志村の駐在所に赴任して半年が経ちました。

慣れない環境の中、パトロール中に手で合図を送ってくれたり、立番や巡回中に様々な人から笑顔で声をかけていただき、とても元気づけられました。

また、消防団、交通安全協会の活動や教育委員会主催のゲートボール大会、保育所や小学校、中学校の運動会等の様々な行事に参加して、道志村の一体感を感じ、道志村に来ることが出来て本当に良かったと思えました。

私の目標は、まず道志村の方

が事件・事故の被害に遭わないようにすること、そして次に村内で事件・事故が発生しないようにすることです。

最後に、6月末に怪我をしまして、7月中には不在にすることが多く大変ご迷惑をお掛けしましたが、少しでも道志村のお役に立てるよう、また少しでも長く居られるよう一生懸命がんばりますので、これからもよろしくお願いします。



写真募集中

(議会だよりに掲載させていただきます)

広報常任委員会

委員長 菅谷 政文
副委員長 佐藤 長久
委員 杉本 孝正
委員 佐藤 進

編集後記

どうし議会だよりの発行が本号で40号になりました。創刊以来10年の区切りを迎えたことになりこの間の諸先輩方々の努力に感謝いたします。

本年の8月に町村議会広報編集委員の視察研修に参加して、埼玉県寄居町、群馬県玉村町議会の広報活動を勉強させていただきました。

そこで改めて感じたことは、常に住民を意識した本来の議員活動、議会活動であり、それを基にして住民と共にある議会広報が大事であるということでした。

そうすればまだまだ先があるような気がしてきます。これからも原点である村民に読んでもらえる紙面づくりに努めて参りますので宜しくお願いたします。
(佐藤長久)